

裸の島 (1960)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ファミリー

製作国 日本

色彩 B&W

時間 95分

初公開日 1960/11/23

映倫 G

【解説】

新藤兼人が監督・脚本・製作・美術を担当した人間ドラマ。モスクワ国際映画祭でグランプリを受賞し、ベルリン映画祭や英国アカデミー賞などでも高い評価を受けた。孤島に生きる家族の姿を、一切の台詞を排して描く。わずか十数人のスタッフが一ヶ月ほど島に住み込み撮影した。

瀬戸内海に浮かぶ小さな孤島に四人家族が住んでいた。千太とトヨとその息子たち、太郎と次郎だ。島には水がないので、畑を耕すためにも、毎日船で大きな島へ水を汲みに行かなければならない。子供たちは隣島の学校に通っているので、彼らを船で送り迎えするのも千太とトヨの仕事だ。会話もなく、変化のない日常が続いていた。しかしある日、太郎が高熱を出してしまう。千太は医者を探すのだが…。

【クレジット】

監督 新藤兼人

製作 松浦英策

新藤兼人

脚本 新藤兼人

撮影 黒田清巳

美術 新藤兼人

音楽 林光

出演 殿山泰司

乙羽信子

田中伸二

堀本正紀